

No. 1368

春うらら、大平首相

うらかな春、そのうえ国会が一段落とあって3月29日は国会ものんびりムード。大平首相はこの日東京、六本木の防衛庁グラウンドで行われたソフトボール大会に出場。首相がボールを握るのは20年ぶりのこと、それでも始球式は伊東官房長官のミットにみごとなストライク。攻撃では指名打者として登場。最初の打席では足元にバットをたたきつけての3球3振、それでも首相は上きげん。2打席目はみごとなヒット、とはいっても首相が打つと代りに走ったのは秘書官。結局首相は3打数2安打の好打率、内閣支持率もこの程度ならいいのにとの声も。

楽しさ3倍！！

— アメリカーサーカス —

愛知県体育館にこしもアメリカン3リングサーカスがやってきました。アメリカサーカス界より抜きのスターたちが文字どおり3つのリングを使ってスピードとスリルのある演技を次々に披露しました。猛獣たちの演技はチビっ子たちにとって楽しい出しもののひとつです。百獣の王と言われるライオンも調教師の手にかかるるとまるでネコのように。美女の演じる空中ブランコショーは迫力満点。オットあぶない！お尻をさすおどけたポーズも演技のうちかも。次々に繰り広げられる演技に会場は緊張とため息の連続でした。

転機迎えた成田闘争

成田新東京国際空港。管制塔が破壊されたあの日から2年、「成田、3.30」で空港周辺は再び緊迫した空気に包まれた。7月の参議院選挙後にも着工されるといわれる二期工事、横風用のC滑走路、二期工事の心臓部ともいえる場所には農業かんがい用の風車が回る。三里塚第一公園では反対派の全国集会が開かれた。だが、反対同盟や新左翼勢力のシンボリック存在だった、反対同盟委員長戸村一作氏の姿はなく、14年にわたる反対闘争は少しづつ変わりつつある。二期工事を阻止し、廃港に追いこむまで闘うという反対派のタイムツデモ。

長い闘いの中では必ず迎える一つの転機。成田闘争は今、大きな曲り角に立たされている。